

ふたかみニュース

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841

羽曳野市駒ヶ谷106-1

発行責任者：寺村美知子

編集責任者：楠尾薫

TEL 072 (957) 4041

Fax 072 (957) 2215

E-mail: futakami@hi-ho.ne.jp

<http://www.futakamifukushi.sakura.ne.jp/>



白熱の大玉ころがし！↑



↑今年も富田林高校のバトン部が、会場を盛り上げて下さいました。



優勝トロフィー授与の様子。↓

10月11日に、『フレスポ2014☆☆～少しも寒くないわ、むしろ熱いわ～☆☆』がはびきのコロセアムで行われました。今年は紅組のはびきの園。それぞれの競技で、仲間みんなが持てる力を精一杯出し、今年は見事に紅組が優勝しました♪皆握手をしたり抱き合ったりして喜びを表現していました。紅組を優勝に導いて下さった家族皆さまの応援、本当にありがとうございました。(田邊朋)



↑「優勝目指して頑張ろう!!」



法人職員研修報告

再来年のふたかみ福祉会20周年を控え、無認可作業所から認可開設づくりへ、現在そして「未来に」と題して第2回法人職員研修が行われました。

今回は、認可作業所「はびきの園」の設立に、深くかかわり協力して下さった家族会の森恒子さん、松永和子さんを講師にお招きし、当時のお話を聞かせていただきました。

「やらなければ」という思いだけでひたすら前に進みまいた。協力して下さる人たちがいて、大きな力に後押しされ、やるしかない」という気持ちになっを振り返り、森さんはそう語っていただきました。

養護学校高等部の卒業を目前にして、将来を案じる家族の思いと先生方の願いが、社会福祉法人組織で経営する認可作業所作りを自分たちの手で進めようという機運を高めるきっかけになりました。

家族の思いと先生方の願いが、多くの人々の心を動かし、共鳴を呼び、大きなうねりとなった結果、認可作業所「はびきの園」は96年に誕生しました。

親の願い、子どもの発達保障を考えるためには、指導するも

の身分が安定して初めて可能という井上重蔵先生、現ふたかみ福祉会理事長の言葉が家族、関係者の希望になったとお聞きし、職員として気持ちの引き締まる思いがしました。(太田)



講師の森恒子さん(中央)、松永和子さん(右)です。

法人研修感想

法人が出来上がるまでの苦勞や、その経緯があるから、今でも熱心に関わって下さり、なれてはならない！と強く思わされている事がよくわかりました。その思いを無駄にしないよう、日々しっかりと支援していきたいかなければいけないと思えました。最後の自分な人生を考えた入所後の子どもと安心というお話を聞くと、これからの私たちが支援者としての課題であり、社会的課題であると痛感しました。(池田め)

安居楽業ゼミナール

10月17日〜2日間、きょうさん主催の安居楽業ゼミナール・くらし」が開催されました。全国から日中の事業所の職員、グループホームの職員、居宅支援事業所など様々な職種から集まりました。

障害者を巡る情勢をはじめ、精神科棟の転換型居住施設問題など「暮らし」を支える上での制度上などの課題が山積みであることが、この2日間で改めて確認されました。

しかし、大阪・西成にある「ごどもの里」館長の荘保共子氏の講演では、「今」困っていることへの支援がいないという話、制度の活用ができていない人には利用につながる支援をしていくという話、学校へのアプローチもおこなうなど、子どもを守る上では「規則だからできない」ということでは通用しないという、生活全体を見据えた力強い実践の話聞かせてもらいました。市長が変わり今までおこなっ

ていた事業を打ち切られるなど制度面では苦しいようですが、国連の「子どもの権利条約」を理念の裏付けとして、地域のネットワークも組織しながら、子どもを守っている(そのまわりの親なども支援していく)という話を聞き、私たちも障害者権利条約に基づき、あきらめない実践をしていかなければならない、新たな制度をつくっていくくらいの気持ちで実践・運動へと展開していかねければならないと思わされました。

他の実践報告の中からも、居宅支援やグループホームなどで、仲間寄り添い「楽しく暮らす」ことの支援、その人らしく主体的に生きていくための支援をする大切さを学びました。

この研修を活かし、楽しい人生をなかと一緒に歩むべく、明日からの仕事につなげたいと思います。(関口な)



会場の様子。当日は125名の参加者が集まりました。

秋のホーム交流会



いました☆

な職員の話が、身振り手振りや、好きな話題が、上手に交わられた。積極的なアピールが光って

今回は七月に入居された浅田達也さん(第3はばたきホーム)の紹介コーナーがありました。ホームでの生活に対する率直な思いや、好きな職員の話題が、上手に交わられた。積極的なアピールが光って

去る10月15日に、4ホームの利用者約20名が集まり、秋の季節の恒例となってきたホーム交流会が行われました。ふたかみ福祉会のケアホームで生活している利用者の余暇活動の一環として、普段顔を合わさない方同士の交流の場になっていきます。日中活動時には無いリラックスタイムに、雰囲気の中で、楽しい時間を過ごしています。



この交流会は、普段ホームの支援に入っているキーパー(世話人の通称)と砕けたやり取りのできる貴重な機会でもあります。

学生のキーパーの仕切りで、ジャンケンゲームが行われ、若さ溢れる身体を張った洗濯ばさみ芸が披露されて大盛り上がりでした。



おめでとうございます!



(東)

この九月で六十歳になられた奥長君子さん(あさがおホーム)のお祝いに、職員一同から寄せ書きが渡され、利用者の鎌田さん(第2はばたきホーム)の手から花の鉢植えが送られました。恥ずかしそうにはにかみながら、「(これから)元気にやらなな」とコメントをいただきました。いつも生き生きとされている奥長さんのように豊かに歳を重ねたいものです。

大阪芸術大学 ふれあいコンサート



芸術の秋たけなわの10月28日に大阪芸術大学ふれあいコンサートが

開催されました。今年で26回目のコンサート、毎年楽しみにする行事の一つです。

今年も昔懐かしい童謡からアナと雪の女王まで、幅広い年齢の利用者さんに合わせて演奏していただきました。楽器紹介も趣向を凝らした紹介をしていただき、楽器の特徴が楽しくわかりました。

指揮者コーナーでは、はびきの園から下原聡さんが登場。



優雅な『ラヴェツキー行進曲』になり、会場割れんばかりの拍手喝采でした。

府大杏樹祭

指揮者の西田和久先生、大阪芸術大学ウインド・オーケストラの皆さん、共演の河南町立中学校吹奏楽部の皆さん、素敵な演奏ありがとうございました。(楠尾)



10月25、26日と府立大学の学園祭「杏樹祭」の販売に、今年も招待をして頂きました。今年は、はびきの園の紹介展示もして頂きました。両日ともに天気良く、会場は賑わっており、クッキーを中心にケーキの注文もたくさんありました。また、利用者や学生ボランティアで杏樹祭と一緒にまわる企画が今年もあり、数名の仲間が模擬店やミスター・ミス羽曳野キャンパスコンテストを楽しみました。担当して頂いた学生のみなさん、本当にありがとうございました。(大伴)



健康祭り

平成26年10月19日

(日) おれあい健康祭り」に参加しました。

今年も、羽曳野市内4ヶ所の相談支援事業所と相談支援事業所ブースを設け、障害のある方との交流や情報提供を行いました。

支援センターは手作りアンパンマンも握りアンパンマンも握りや写真撮影で賑わっていました。

今後も楽しい企画でのふれあいを通して多くの市民の方へ相談支援事業所への周知と障害のある方への理解が広がっていくことを願っています。
渡辺

← 子どもたちに大人気のアンパンマン。会場で大活躍でした。



チャリティコンサート 2014おしらせ



(昏時)
2014年11月29日(土)
15:00開演 14:30開場

1部 障害のある仲間とボランティアのうたごえ
2部 ナターシャ・グジーコンサート
うたボランティア募集!

今年も1部のステージでもに歌って頂ける方を募集します。

練習日

11月3日 祝・月 14時～

11月15日(土) 14時～16時

※時間は変更することがあります

場所) はびきの園

11月 自主製品販売予定

- 4日(火) 食とみどりの技術センター
- 7日(金)～9日(日) 白鳥文化祭
- 15日(土) 秋バザー
- 18日(火) 葛井寺販売
- 25日(火) 道明寺天満宮販売
- 28日(金) 滝谷不動産
- 29日(土) チャリティーコンサート販売

秋の福祉ビッグバザー 今年もやります

日時：2014年11月15日(土)・16日(日)

場所：府営羽曳野翠鳥園住宅横空き地

15日(土) 午前10時～15時

●古着・靴・カバン・食器・高級食器

16日(日) 午前9時半～正午

●古着・新品・衛生・小物・雑貨

※商品補充が必要な際には会場内の立ち入りを制限する場合があります。また天候の悪化により、開始・終了時間を変更する場合があります。

商品を2日に分けます。



14年度10月の後援会入会

及び更新の方々(敬称略)

駒沢任紀 以上5口
清水一 以上2口

星川千晶 越野玲子
山本富子 樽井修二
石井勝代 新田金次
以上1口

陶芸クラブ
福保労はびきの園分会
以上1口

寄付・寄贈

大江 様

大孝 春枝 様

田中 美希 様

ボランティア

であい 様

細川直幸 様

畑英作 様

松倉和代 様

廣瀬佑子 様

10月アルミ缶販売量

1,263kgでした。

※ありがとうございました。

〈編集後記〉

早いもので今年もあと2か月となりました。大きな行事もあと残りわずか。チャリティーコンサートの歌の練習にも熱が入ります。

(昏)